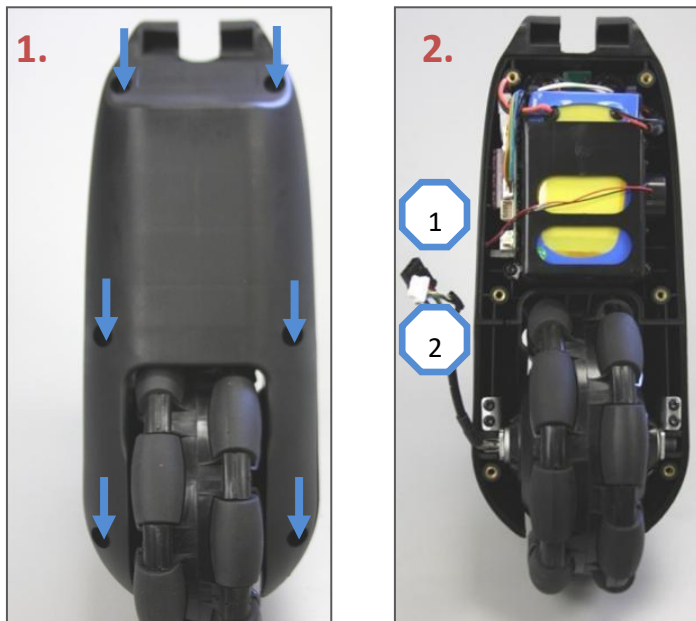
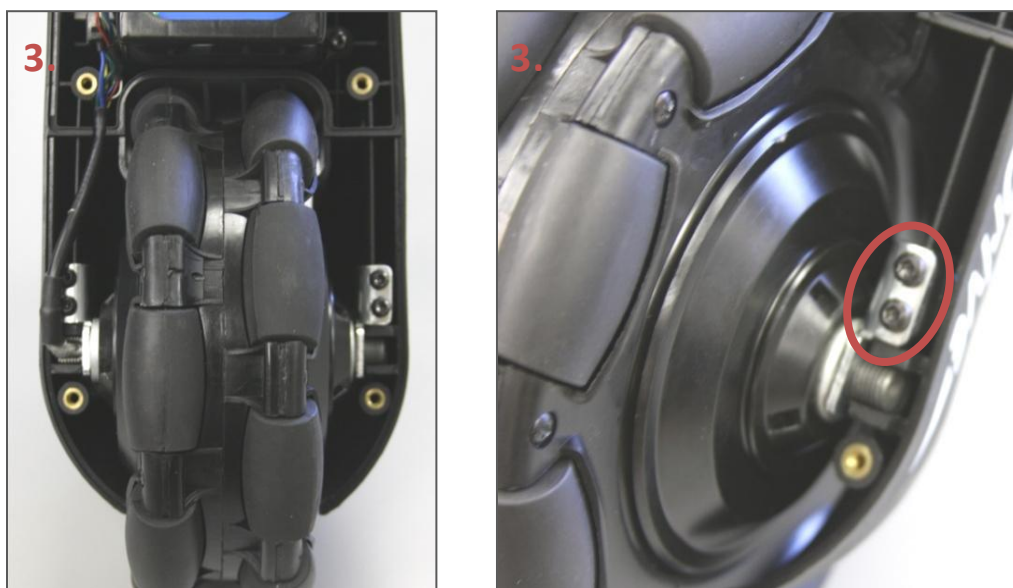


MX2 ドライブユニット・モータの交換 (15-06-11)

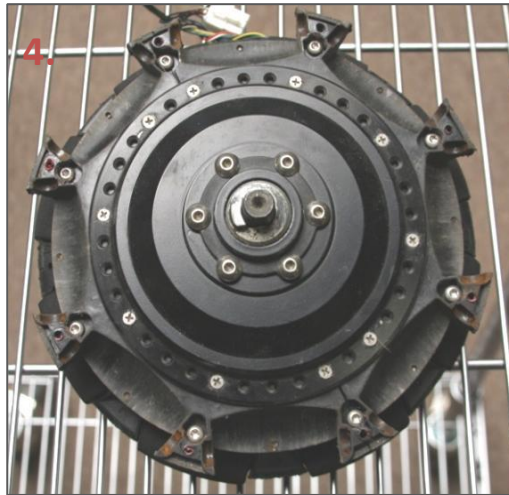
1. サイズ 3mm の六角レンチでケースの底にある6個のネジを取外します(図1参照)。
この時、ネジの頭をしっかり押さえてネジを緩めて下さい。押さえが甘いとネジ頭をなめて、ネジ穴をつぶしてしまいます。ネジを全部取外してから、裏カバーを外します。



2. 2個のモータコネクタを回路基板から外します(図2参照)
3. T20トルクスレンチでモータのブラケットを上の方体につけている4個のネジを外し、モータを後ろからしっかり押し取外します(図4参照)。
ネジを緩める際はネジの頭をしっかり押さえて下さい。押さえが甘いとネジ穴をつぶしてしまいます。



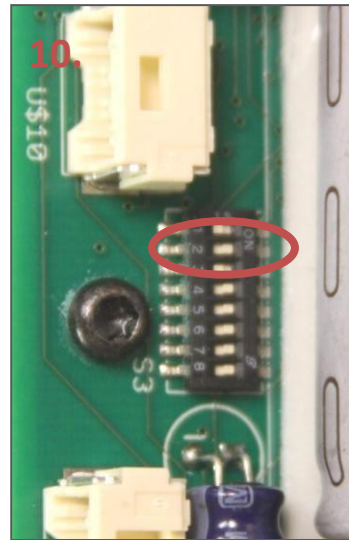
4. #2プラスドライバーで2個のホイールカバーを取付けている8個のネジを外し、と8個のローラをモータの片面から外します。
もう片方の面も繰り返します(図4参照)。
ネジを緩める際はネジの頭をしっかりと押さえて下さい。押さえが甘いとネジ穴をつぶしてしまいます。



5. 新しいモータに8個のローラを付け、2枚のホイールカバーをローラ上に被せます。
付属の赤のロックタイトを少量、8個のネジの端に付け、ホイールカバーを#2のプラスドライバーで半分、手で締めます。
これらはタッピングネジであり、締め過ぎるとプラスチックのネジ部を剥がしてしまいますので、このネジ締めには電動ドライバーを使用しないで下さい。
又、手で締める際は、抜けを防止する為、ネジ部をしっかりと押さえて下さい。
6. 新しいモータのもう片方の面についてもステップ#5を繰り返します。再度、プラスチックのネジを剥がしてしまいますので、締めすぎないように気を付けて下さい。
7. 新しいモータを付け、前のステップ#3で取外した4個のネジで締付けます。
モータのブラケットが上側の筐体のスロット(凹み)に入っている事を確認し、しっかりと押します。
(図7参照)



8. #1と#2のモータコネクタを回路基板に接続します。 ゴムの輪がモータ・ケーブルの回りにある事を確認して、ゴム輪とケーブルを筐体のスロット(凹み)にしっかりと押込みます。
全てのワイヤが筐体のスロットの中に入り、ワイヤが下側の筐体に挟まれていない事を確認して下さい。
9. 回路基板のディップスイッチで、(2)を OFF(左側)にします。
ドライブユニットはキャリブレーション・モードになります。ペアリング用の腕バンドとドライブユニットを ON にし、ドライブユニットを 45° の角度に傾け、モータ・ホイールを少し押して、モータ・ホイールを回転させます。モータ・キャリブレーションが開始し、モータは最大速度にまで加速します。
(キャリブレーションモードではドライブユニットの上と下の LED だけが点灯します)
約 15 秒間のキャリブレーションの後、ドライブユニットは 2 回、ビーと音がしてモータはOFFになります。
これでキャリブレーションは完了です。



10. ドライブユニットをOFFにし、ドライブユニットの回路基板のスイッチ(2)をON(右側)側にします。
これでドライブユニットは通常の動作に戻ります。
11. ドライブユニットを持ち、モータを ON にして正常に機能する事を確認します。
モータはボタンを押すスピードに同期し、腕バンドをタップするまで(又はユニットを OFF するまで)回転し続けます。
モータ・ケーブルはスロットにあり、ゴム輪が周囲に正しく置かれている事を確認してから、ドライブユニットの底のカバーを交換し、6個のネジでドライブユニットにしっかり取付けて下さい。

